

# 野菜栽培

使用教科書・副教材	単位数	学年・学級・学科・選択名等
野菜（農文協）	4	2年(アグリビジネス科)

## 1 学習の到達目標

学習の到達目標	野菜の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付ける。
---------	---

## 2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前期	4	オリエンテーション	1	・本科目での学習内容の説明、授業の進め方、受講する上での注意事項などを理解する。	○				授業への取り組み姿勢
		座学 ・ジャガイモ ・トマト	2	・ジャガイモの基本情報や来歴等について学ぶ。 2 ・トマトの基本情報や来歴等について学ぶ。	○	○		○	取り組み姿勢 レポート提出
		実習 ・たねいも準備 ・トマト苗移植	4	・たねいもの植付け前の準備を出来るようになる。 4 ・トマトの移植の意義を理解し、技術を身に付ける。	○		○	○	取り組み姿勢 記録簿の提出
	5	座学 ・野菜の生産と利用	2	・人間と野菜の関わりについて理解する。□ 2 ・色々な野菜の種類と分類、特徴を理解する。□ 2 ・食品としての野菜の特徴と利用法を理解する。	○	○		○	取り組み姿勢 レポート提出 小テスト
		実習 ・スイートコーン播種 ・たねいも植付け ・トマト定植	4	・スイートコーンの播種を理解し、出来るようになる。□ 2 ・たねいもの植付け方法を理解し、出来るようになる。 4 ・トマトの定植準備および定植ができるようになる。	○		○	○	取り組み姿勢 作業の出来 記録簿の提出
	6	座学 ・野菜の需給の動向	2	・我が国の野菜生産の推移と動向について理解する。□ 2 ・我が国の野菜消費の推移と動向について理解する。	○	○		○	取り組み姿勢 レポート提出
		前期中間考査						○	定期考査
		実習 ・トマト栽培管理 ・コーン栽培管理	2	・トマトの誘引・わき芽取りができるようになる。 2 ・スイートコーンの栽培管理ができるようになる。	○		○	○	取り組み姿勢 記録簿の提出
	7	演習 ・校内鑑定競技対策	4	・校内鑑定競技大会への学習を通じて、農業クラブへの興味・関心を高める。	○			○	取り組み姿勢 小テスト
		座学 ・種子と発芽 ・根の発達と肥大 ・スイートコーン	2	・種子の基本的な構造と性質を理解する。 2 ・根の基本的な構造とはたらきを理解する。 2 ・スイートコーンの基本情報や来歴等について学ぶ。	○	○		○	取り組み姿勢 レポート提出 小テスト
		実習 ・コーン栽培管理 ・アズキ栽培管理 ・トマト栽培管理	2	・スイートコーンの除草・除房が出来るようになる。 2 ・アズキの除草が出来るようになる。 3 ・トマトの栽培管理ができるようになる。	○		○	○	取り組み姿勢 作業の出来 記録簿提出
	8	座学 ・茎葉の生育と結球	2	・葉の基本的な構造とはたらきを理解する。	○	○		○	取り組み・レポート
		実習 ・ジャガイモ収穫・調整 ・スイートコーン収穫 ・産業界実習	4	・ジャガイモの収穫・選別ができるようになる。 2 ・スイートコーンの収穫ができるようになる。 6 ・実習で学んだことを実際の現場で活用する。	○		○	○	取り組み姿勢 作業の出来 記録簿提出
	9	座学 ・花芽の分化 ・発達と果実の肥大	2	・花・果実の基本的な構造と性質を理解する。 2	○	○		○	取り組み姿勢 レポート提出
前期期末考査						○	定期考査		
実習 ・ジャガイモ調整 ・トマト収穫・調整		4	・ジャガイモの選別ができるようになる。 2 ・トマトの収穫・調整ができるようになる。	○		○	○	取り組み姿勢 作業の出来	
後期	10	座学 ・野菜の健全な生育と環境 ・土壌管理と施肥 ・被覆資材の利用	2	・野菜を取り巻く様々な環境について理解する。 4 ・土壌環境について理解し、施肥や土壌管理について考察する。 2 ・マルチの役割やトンネル・温室について理解する。	○	○		○	取り組み姿勢 小テスト レポート提出
		実習 ・食彩フェア準備 ・しほろ収穫祭準備 ・圃場片付け	3	・様々な野菜の収穫・調整・出荷準備を行い、流通の流れを理解する。 3 ・トマトや様々な野菜で使った圃場の片付けをできるようにする。	○		○		取り組み姿勢 作業の出来

後 期	11	座学	・有害生物の管理 ・アズキ	2	・防除の考え方を理解し、環境と調和した防除法を考察する。 2・アズキの基本情報や来歴等について学ぶ。	○	○	○	取り組み姿勢 レポート提出 小テスト
		実習	・アズキの選別	4	・アズキの選別が出来るようになる。	○	○	○	取り組み・作業結果
	後期中間考査								○ 定期考査
	12	座学	・農業技術検定対策 (3級程度)	6	・授業で学んだことをもとに、実際の模擬問題を解き、自分の理解度を知る。	○			○ 模擬問題
		座学	・農業技術検定対策 (3級程度) ・養液栽培技術	4	・授業で学んだことをもとに、実際の模擬問題を解き、自分の理解度を知る。 2・養液栽培の基本的仕組みについて学ぶ。	○	○	○	○ 模擬問題 ○ 取り組み ○ レポート
	1	実習	・養液栽培施設見学	2	・実際の養液栽培施設を見学し、養液栽培の仕組みを知る。	○	○	○	○ 取り組み姿勢 ○ 記録簿提出
		座学	・施設栽培と環境管理 ・種子と発芽	2	・露地と施設栽培の違いを知り、施設環境について学ぶ。 2・次年度の苗生産に向けて、種子と発芽の性質を理解する。	○	○	○	○ 取り組み姿勢 ○ 小テスト ○ レポート提出
	2	実習	・イチゴ栽培管理	4	・イチゴの基本的な管理方法(摘花・下葉かき)ができるようになる。	○		○	○ 取り組み姿勢 ○ 記録簿提出
		座学	・育苗 (果菜類・葉茎菜類・セル)	4	・育苗のねらいや播種～育苗までの基本的な方法を学ぶ。	○	○	○	○ 取り組み姿勢 ○ レポート提出
	後期期末考査								○ 定期考査
	3	実習	・長ネギ播種	2	・次年度の苗生産に向けて、長ネギの播種ができるようになる。	○		○	○ 取り組み姿勢 ○ 記録簿提出
		実習	・果菜類播種	4	・次年度の苗生産に向けて、ナス科野菜の播種を行う。 2・次年度の苗生産に向けて、ウリ科野菜の播種を行う。	○		○	○ 取り組み姿勢 ○ 記録簿提出

### 3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技能	④知識・理解
内容	我が国の野菜栽培について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組む。	野菜栽培に関する課題の解決を目指して考え、適切に判断し、自分の考えを表現する能力を身に付けている。	野菜栽培に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、計画を立て、技術を活用できる。	野菜栽培の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜栽培の意義や役割を理解している。
割合	20%(点)	10%(点)	10%(点)	60%(点)

### 4 履修にあたっての注意事項

- (1) 野菜栽培は、2、3学年の2年間継続の授業となります。
- (2) 座学と実習を平行して行います。
- (3) 野菜の生育状況によって、授業の順序や進度に変更が生じる場合があります。
- (4) 野菜の生育状況によって、担当野菜以外の野菜の実習が入る場合があります。
- (5) 実習に際しては、学校指定の実習服・帽子・長靴を正しく着用して臨むこと。
- (6) 座学に際しては、教科書・ファイルを毎時間持参すること。
- (7) 実習は危険を伴う作業をすることもあるため、指示を良く聞き、指示に従い、まじめに取り組むこと。

#### 評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0
1	29 ~ 0

#### 学年末評定について

評定	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0
1	29 ~ 0

以上の点を守れない場合には未履修になる可能性があるため、注意すること。